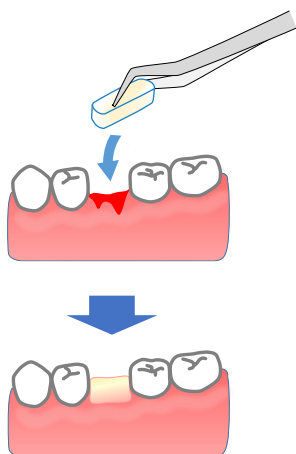


<抜歯窩の止血における使用例>



パイテックをピンセット等で挟んで出血部位にあてます
※強くつまむと破損する恐れがありますので、そっと挟んでください

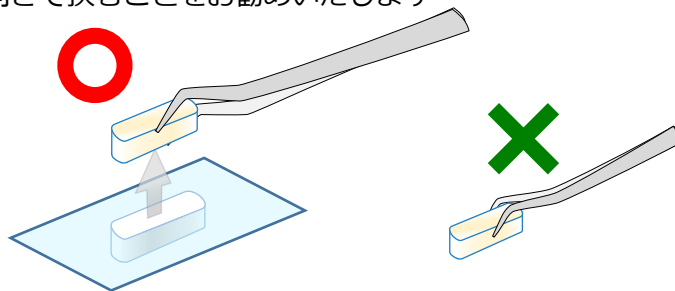


パイテックが水分を吸って、柔らかいゲル状になって接着するまで、数秒～十数秒当てたままお待ちください
※水分が少なく柔らかくなるのに長い時間を要するときは、濡れた綿球を当てると手早くゲル化させることができます



処置後、数分経ちましたら、うがいをして頂いてもかまいません
本品は唾液等で自然にゆっくりと崩壊・流出します

ピンセットで挟む際は側面を挟むと崩れやすいので
こちらの向きで挟むことをお勧めいたします



ご注意いただきたい点

- ・ピンセットや手袋が濡れていると、パイテックが粘着します。必ず、乾いた器具でお取り扱いください
- ・長期の残存を防ぐため、頻繁にうがいされることをお勧めいたします

本品は組織に吸収されませんので、縫合などによる完全閉鎖創への包埋は行わないでください

開口部が狭いなど、流出しにくい部位に使用した場合は、止血を確認された後、取り除く、あるいは水等で洗い流してください